

「NPO 法人 空とぶ森」の植栽活動に参加しました！



写真1 活動後に全員集合

アジア航測（株）は、環境技術を社会の環境教育・環境保全活動に役立てる目的で、地域社会貢献に取り組む NPO 法人の活動に協力しています。また、自然と共生する産業としての林業や農山村地域の喪失防止および再生の実現を目指して、森林・環境保全活動に取り組んでいる『特定非営利活動法人（NPO 法人）空とぶ森』の活動には、毎年積極的に参加しています。

今年（2026年）5月23日（土）に群馬県みなかみ町の「赤谷プロジェクトいきもの村」で開催された植栽活動に参加しました。現地は朝から深い霧に覆われ天気の方が心配されましたが、徐々に霧も晴れ、9時に小川理事長の挨拶で活動が開始されました。前日から近くの「泊まれる学校さる小」に宿泊した参加者 17 名（大人 13 名、子ども 4 名）と当日の朝に駆け付けた参加者 10 名（大人 10 名）の計 27 名で作業を開始しました。

「赤谷プロジェクト」は、（公財）日本自然保護協会、地元の協議会および林野庁関東森林管理局の三者が協定を結んで、赤谷地域の国有林の保全や活用に取り組むプロジェクトです。

昨年に引き続き、「いきもの村」の未利用地において植栽活動が行われましたが、この「いきもの村」の敷地は、かつて国有林の苗畑や採穂園として利用されていました。現在は、赤谷プロジェクトの調査研究・環境教育活動の拠点となっていますが、使われていない場所は長年放置されて原野状態となっていました。そのため、関東森林管理局の赤谷森林ふれあい推進センターにご指導いただき、郷土樹種であれば樹木を植栽しても良いとの了解が得られたことで、この活動



写真2 小川理事長の挨拶

が開催されているとのことです。

「いきもの村」の敷地は、県道 270 号線（奥根ゆけむり街道）を挟んで、南北 100 m、東西 400mの 4ha 程度の階段状の土地で、県道の東側 3 段目が活動箇所として選定されています。

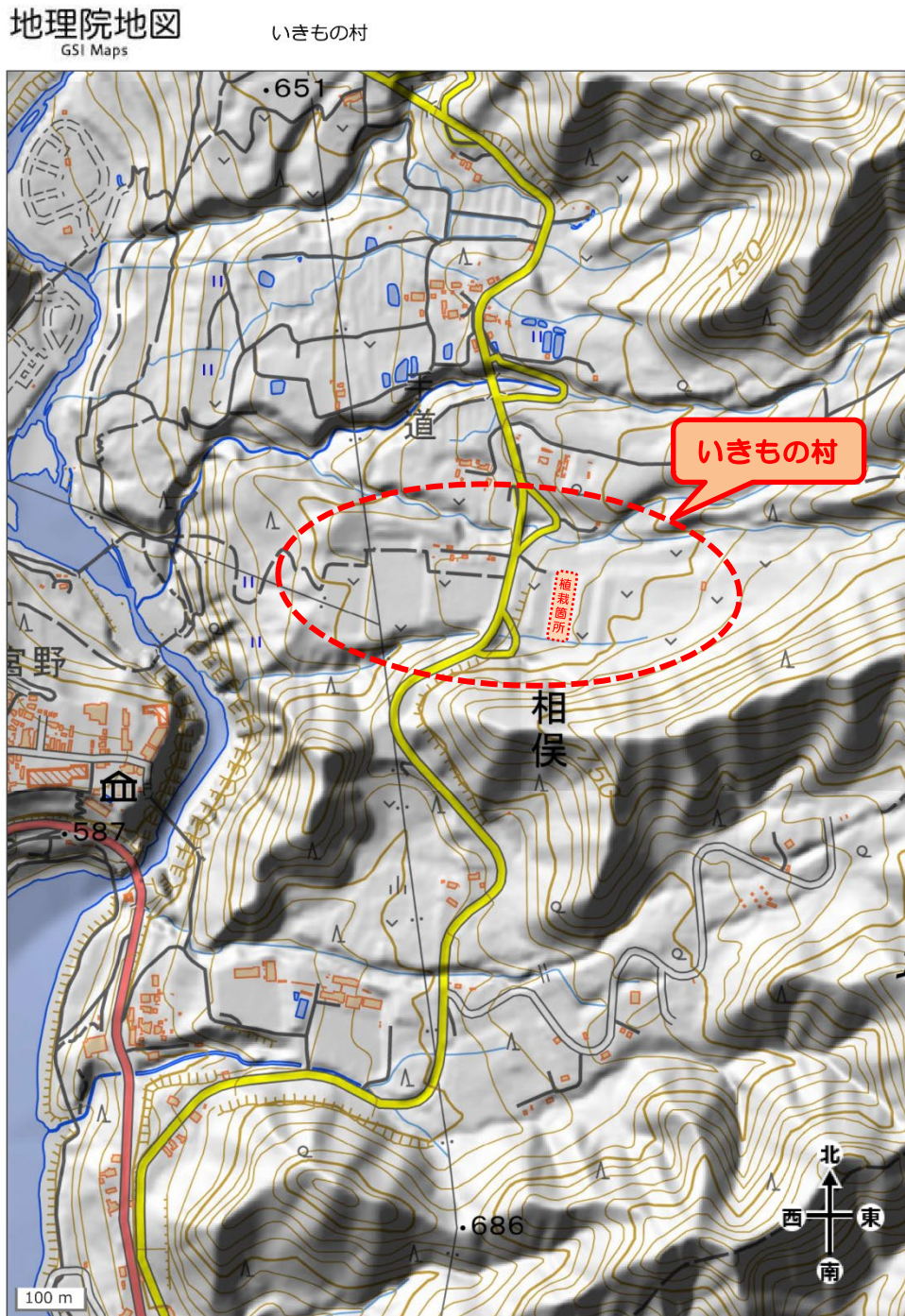


図1 活動実施箇所位置図

◆植栽計画

活動にあたっては、今年も「群馬県山林種苗緑化協同組合」から調達した広葉樹の苗木が用意されました。

昨年の活動で 40 本（ヤマザクラが 20 本、オニグルミ・イロハモミジ・ヤマボウシ・



写真3 今年の追植のために準備した苗木

カキノキがそれぞれ5本)の苗木を植えましたが、事務局が事前(5月15日)に視察を行いヤマザクラとオニグルミは6割、イロハモミジ・ヤマボウシ・カキノキは8割が生存・生育していることを確認していました。

そのため、今年は昨年植栽した場所の改植としてヤマザクラ1本、昨年植栽した場所の北側の敷地にヤマザクラ12本、オニグルミ4本、イロハモミジ3本、ヤマボウシ3本、カキノキ3本の25本、計26本を植えることが寺川理事より提案されました。

| 行\列 | 2026年植栽計画 NEW | | | | | | 2025年植栽 | | | | | | | |
|-----|---------------|--------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|-------|--------|---------------|--------|--------|--------|
| | カ | オ | エ | ウ | イ | ア | A | B | C | D | E | F | G | H |
| 1 | | | | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ |
| 2 | | ヤマザクラ | イロハモミジ | ヤマボウシ | オニグルミ | カキノキ | ヤマザクラ | カキノキ | ヤマボウシ | カキノキ | オニグルミ | イロハモミジ | ヤマボウシ | ヤマザクラ |
| 3 | | イロハモミジ | オニグルミ | カキノキ | イロハモミジ | ヤマボウシ | イロハモミジ | オニグルミ | カキノキ | イロハモミジ | ヤマボウシ | オニグルミ | イロハモミジ | イロハモミジ |
| 4 | ヤマザクラ | ヤマザクラ | カキノキ | オニグルミ | ヤマボウシ | オニグルミ | ヤマザクラ | カキノキ | オニグルミ | ヤマボウシ | オニグルミ | カキノキ | ヤマボウシ | ヤマザクラ |
| 5 | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | (改植) ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ | ヤマザクラ |

図2 樹木植栽配置図(赤字が今回植栽)

◆ 獣害対策ネットの作成

小川理事長の挨拶に続いて寺川理事から活動内容と獣害対策ネットの作り方の説明がありました。植栽地付近にはシカなどが生息しており、植栽後の苗木の食害を防止するための対策が必要であることから、今年も関東森林管理局群馬森林管理署が開発した玉ねぎネットを使った獣害対策の方法を継続して取り入れていました。

初めに、参加者全員で玉ねぎネットを使用した単木保護資材の作成を行いました。多くの参加者は昨年も作成を経験していましたが、1年ぶりの作業で四苦八苦していました。



写真4 獣害対策の単木保護資材づくり



写真5 獣害対策ネット完成



図3 獣害対策ネットの作り方

◆雑草の刈払い作業

あらかじめ簡易なテープ測量によって追植箇所の位置出しが行われましたが、植栽箇所には雑草が繁茂しており、支障となる灌木も少し生えていました。そこで、赤谷森林ふれあい推進センターから借用した電



写真7 電動刈払い機の使用は完全防備



写真6 刈払い開始

動刈払い機 2 台と下刈り鎌などの道具で、雑草の刈払いを実施しました。なお、小川理事長と事務局の吉田さんは労働安全衛生法による刈払い機の安全衛生教育を受講しており、借用した刈払い機の取扱いに備え準備は万端でした。昨年の活動で植栽した



写真8 昨年植栽した箇所は丁寧に

箇所は下刈り鎌で丁寧に刈り取り、今年北側に拡張した箇所も電動刈払い機で刈り取りました。



写真9 小川理事長も電動刈払い機を使用



写真10 足元はヤマビルに注意

作業前には参加者全員が足元にヒル除けスプレーを塗布しましたが、ヤマビルに注意を払いながらの作業となりました。



写真11 大分刈り取れました

◆植栽作業

刈払い後は寺川理事から、「少し大きめの穴を掘って、周辺の土をほぐしてから地面と同じ高さかやや高植で、表を南に向けて植えるように」と説明がありました。

参加者全員（寺川理事を除く）が1本の苗を植栽配置図に従って植え付け、それぞれが自分で作成した獣害対策ネットを設置しました。また、日付・氏名・樹種を樹木用ネームプレートに油性ペンで書き、竹の支柱に取り付けました。

植栽作業はなんとか雨に降られることなく午前中に終わることができました。

その後は、昨年の植栽木のメンテナンスを行いました。事前視察で折れていたり、先端が食害にあっていたりして生存・生育が難しいと思われた樹でも、横から芽が出てたくましく育っているものもありました。



写真12 ダブルスコップで穴を掘って植え付け

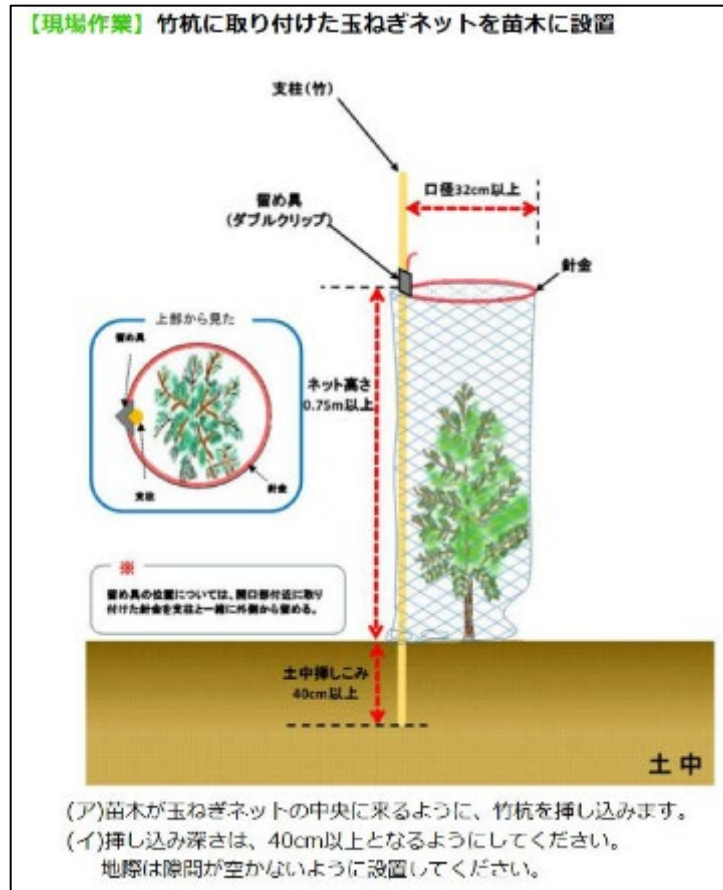


図4 玉ねぎネットの設置方法



写真 13 作業後の状況



写真 14 昨年の植栽木チェック

昨年の植栽木のメンテナンスを行っていた一方で、希望する子どもたちには周辺の森に生えていたイタヤカエデの稚樹を採取してもらいました。これは、来年の活動で植栽できるように「里親」として自宅で稚樹を育ててもらうことを目的としています。

最後に、赤谷森林ふれあい推進センターから借用した道具を全員で洗浄して返却し、寺川理事が活動を総括して、今年も無事に終了しました。

今年も植えた樹が根付くかどうか、鹿に芽を食べられたりしないかが気になります。また、夏にはススキが竹の支柱より高く茂り、竹の支柱にはつる植物が巻き付いたりすることが予想されます。夏に草刈りの活動をすることもあるかもしれません。



写真 15 イタヤカエデの苗木

心地よい汗を流した参加者は、活動後にそれぞれ近くの温泉でゆっくりしたり、溪流釣りを楽しんだり、美味しい名物を食べたりしてから帰宅の途につきました。



写真 16 (株)プライムプランから参加のみなさん



写真 17 寺川理事が活動を総括



写真 18 「泊まれる学校さる小」の体育館



写真 19 「泊まれる学校さる小」の朝食

最後に、林野庁関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センターの伊藤所長、鈴木主事には大変お世話になりました。ありがとうございました。

アジア航測(株)は、今後も NPO 法人 とのパートナーシップを含めた企業市民としての活動を推進してまいります。

参加いただいたみなさん、お疲れ様でした！！



写真 20 最年少参加！